

# アドバイスレポート (別添3)

平成30年1月11日

## 3F西 療養病棟



菌輸液の遮光袋が再利用されています。無菌的な輸液を遮光する袋なので再利用するには、袋の内外側をアルコールで清拭する必要があります。手間を考慮するとディスポーザブルが良いと思います。

スポンジは、緑膿菌やアシネトバクターによる汚染を受けやすいので、できるだけ乾燥させ、交換のタイミングを基準で決めるや使用期限を設けるなど、感染源とならない管理方法をご検討ください。



クロスガーゼやアルコール綿が棚の上に置いてあります。棚の上は埃が蓄積する可能性があり、置き場所としては好ましくありません。置き場所の見直しをお願いします。



## 3F西 回復期リハビリ病棟



パソコンの周囲に擦式用アルコール製剤の設置がありませんでした。パソコンのキーボードは細菌汚染を受けていることが多いので、パソコン操作後に手指消毒ができるように設置をご検討ください。

吸入用の生理食塩液500mL、注射用水500mLの開封日の記載がありませんでした。防腐剤が入っていないので開封後は細菌汚染を受けやすいです。生理食塩液、注射用水には20mL製剤がありますので、開封後は短期間で使い切れる製剤への変更をご検討ください。



冷蔵庫のヒューマリンRの使用期限が過ぎていました。院内で使用期限について再度周知すること、ICTラウンド時に冷蔵庫のチェックもお願いします。

カテーテルチップが洗浄後、カップに入れられており乾燥が不十分でした。基本的にはディスプレイですがリユースする場合、洗浄後に0.01%次亜塩素酸ナトリウムへ次回使用時まで浸漬しておくのが良いと思います。



# 清掃用具



介助入浴室：床拭き用モップ？



汚物室：ナースセンター床拭き用



ナースセンター内：雑巾  
シンク周囲？洗浄後物品用？

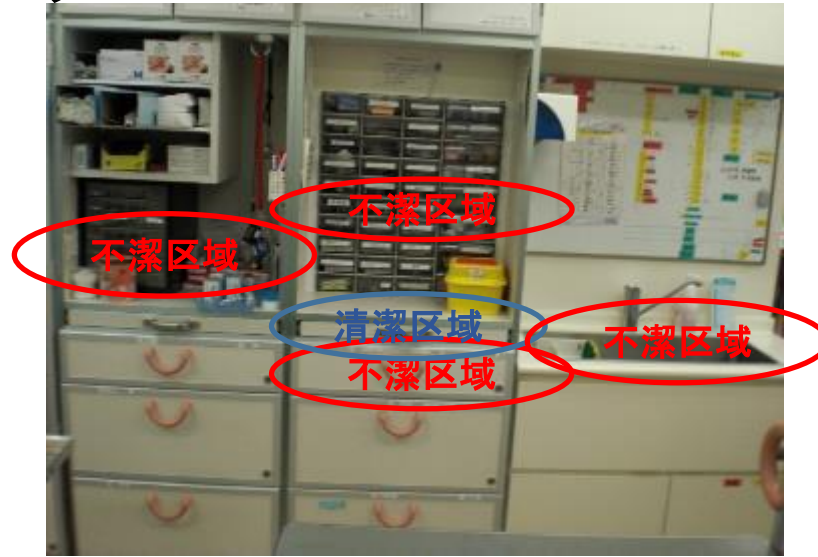
モップや雑巾等が目につきました。  
不完全な乾燥状態が続いたモップ類はグ  
ラム陰性桿菌等が繁殖しやすい状態です。  
使い捨てのクイックルワイパーのような用  
具を推奨します。  
(モップの柄も床に直置きでした。)

# 輸液製剤のミキシング 1



ミキシングスペースは清潔区域で普段から物品を置かないように心掛けたいです。

# 輸液製剤ミキシング 2



物品収納はコンパクトですが、清潔区域・不潔区域が混合になっています。ミキシングスペースの上下に物品が収納されています。特に使用頻度が高い物品がミキシングスペースを囲んで配置されています。できるだけ、清潔度の高いものとそうでないものを分けて配置をお願い致します。また、滅菌物品が引き出しからはみ出ています。包装が破ける可能性があります。SPD導入されていますのでストック数の見直しをされては？

# 清潔・使用後リネン庫



- ・清潔リネン 床上30CM法則守られています。
- ・天井にリネンが触れている状態です。埃がかりやすいことありますが、火災報知器や消火装置も近くにありますが天井近くの物品収納も注意が必要です。

# 経管栄養



窓際に吸入用の薬剤、消毒液等が並んでいます。  
日光があたり、温度差も生じ適正な薬剤管理ができる環境に思えにくいです。

経管栄養用輸液チューブは水洗浄後EOGガス滅菌しているようです。  
乾燥に時間もかかり、シンク回りが汚染しやすい環境になっています。



# ガーゼ交換車 救急カート その他処置車



処置車全般的に整理整頓が必要です。

共用物品が多く、使用後の洗浄等が十分になされているのか疑問です。

何でも一緒になっており、使い差しの絆創膏、軟膏が目につきます。

交換車や救急カートの上にデッキをかけてありますが廃止の方向へ  
上段にはなるべく物品を置かず、滅菌物品・清潔物品は最小限の数に減らし  
引き出しに収納することで上段の物品はほとんどなくなりデッキは不要になります。

# 汚物室



療養棟で10名程の尿道留置者の尿はバケツで複数名回収しているようです。汚染された尿による交差感染を防止するためには回収時の操作に注意しなければなりません。一つの容器で複数患者の回収は交差感染のリスクが高いかと思われまます。可能であればすべて別々の容器で回収をお願いします。

# 食器類 水回り



シンクのスポンジ類数が多いので(1か所に3~5個ほど)最小限の数で乾燥状態が保たれるような管理が必要です

患者用 食事のセット テーブル上はきれいに整頓されています。  
お茶が準備されていますが、コーナーは無人で誰もが触れる状態は安全面で??

# 清潔・不潔の交差



使用中の口腔ケアジェルやオイル類  
未使用の口腔ケアブラシと一緒に保管  
されていました。清潔と不潔が交差し  
清潔な物が汚染される可能性があるため  
保管場所を見直しましょう。

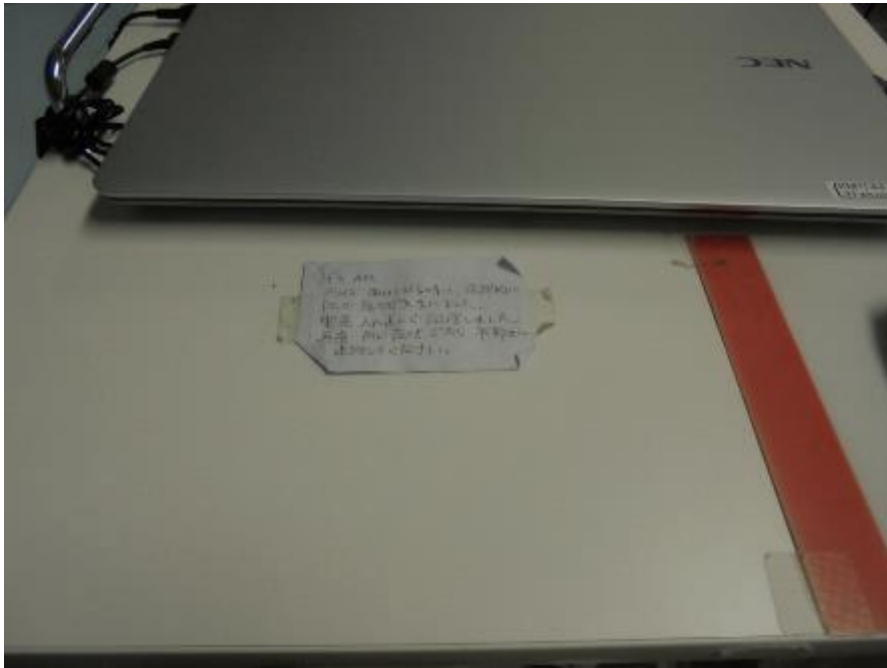
爪切り、ニッパ、眉毛そりが一緒に保管  
されていました。

爪切り・ニッパは消毒されていましたが、  
眉毛そりは未消毒であり、一緒に保管  
すると爪切りなどが汚染される可能性が  
あります。

眉毛そりは個人専用とし、他の患者の  
物と交差しないよう保管しましょう。



# 水平面、材料の管理



在庫数が多くないですか？  
衛生材料の個数を見直しましょう。

水平面にテープをはると環境清拭十分に  
できないため、注意下記用紙は垂直面  
にはるようにしましょう。



# 針捨て容器の管理



委員会記録の前に針捨て容器が保管されていました。蓋も開いておりファイルが汚染されるため保管場所を見直しましょう。

インスリンの針・血糖測定針(滅菌物)  
血糖測定器、ブラッド判、針捨て容器  
メモ帳が同じ箱に入っていました。清潔と不潔が交差しているため、設置場所を見直しましょう。



# 清潔と不潔の交差



血糖測定器、体温計、針、軟膏類(使いまわし?)など一緒に保管されています。保管場所を見直しましょう。

キシロカインゼリーとアルコール綿が同じ箱に入っていました。使用時は、それぞれを別のトレイに入れ使用しましょう。



# 廃棄物の管理



トイレの入り口に蓋のしまった感染性廃棄容器がありました。  
患者さんの安全性を考慮し、一次置き  
場所を見直しましょう。

トイレの入り口に口をしばったゴミがありました。  
ゴミも蓋からはみ出していました。  
保管場所を見直しましょう。





# 日常の管理を見直せたら良いですね



感染性廃棄容器、1日に必要な個数を病棟に保管するのは難しいでしょうか？

歩行器のアームレストが包帯で保護されていました。人の手がよく触れる場所なため、アームレストの修理や患者ごとに包帯を交換するなどご検討下さい。



# 日常の管理を見直せたら良いですね



トイレに希釈したピューラックスが設置されていました。現在はこのような運用は全くしていないとのことでした。管理方法などラウンド時に確認をしていきましょう。

食堂に患者さんの歯ブラシが置いてありました。認知症の患者さんが間違えて使用することなどはないですか？



# ICTラウンド時、確認しましょう



自動お絞りタオルです。内部の清掃などメンテナンスがどのようになっているか不明でした。ICTラウンド時など、定期的に点検し、お絞りタオルが感染源とならないよう管理をしていきましょう。

手洗いシンク周辺のパッキンにカビが生えていました。  
スポンジ置き裏もカビが生えていました。  
毎日の清掃方法、カビとりの指示などICTラウンド時に確認していきましょう。



# 軟膏類の管理方法を見直しましょう



患者さんに使用中の軟膏が薬品用冷蔵庫に保管されていました。

使用中の軟膏は汚染と考えるため、冷蔵庫で保管する場合、他の薬品と交差しないよう保管場所を見直しましょう。



# 整理整頓をしましょう

お風呂場の中の消毒薬、ボディークリーム、カミソリ、手袋、ガーゼ類など湿気や水はねなどで汚染し易い状況で保管されていました。  
汚染しないよう、使いやすいよう整理整頓を心がけましょう。



適切に管理・清掃がされていきました  
これからも継続して下さい

